



ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年9月21日(木)	確認目的	海洋放出終了後のALPS処理水希釈放出設備点検状況の確認
確認箇所	K4タンクエリア、多核種除去設備等処理水移送配管		
確認設備	<input checked="" type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>第1回目の放出が8月24日から9月11日に実施され、放出終了後はALPS処理水希釈放出設備の点検が行われることから、その状況を確認した。</p> <p>また、9月6日にALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外ペント弁フランジ部の漏えい警報（原因は雨水の浸入であり、処理水の漏えいは無し）が発生し、東京電力が類似箇所の調査を実施していたことから、現場の状況を確認した。</p> <p>【K4タンクエリアにおける水位計点検作業の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放出される前のALPS処理水が保管されている測定・確認用設備（K4タンクエリア）では、タンク屋上に取り付けられている水位計（水面までの距離をレーザーで測定する方式）の点検作業が実施されていた。 東京電力によると、屋上では水位計の状態や水位指示値を確認し、本体の指示値と遠隔監視の指示値を後ほど比較するとのこと。 <p>【ALPS処理水希釈放出設備移送配管ペント弁の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地では、東京電力の立ち会いの下、委託作業員数名が、漏えい警報が発生したペント弁とは別のペント弁カバーを開け、内部を確認していた。（写真1）（写真2） 東京電力によれば、これまでの調査で、9月6日に漏えい警報が発報したペント弁以外に、弁カバー内部に水分が確認されたペント弁はないとのことだった。 		
	 <p>（写真1）ペント弁カバー内部確認の状況</p>	 <p>（写真2）ペント弁カバー内部の状況</p>	